

| No | 社名 | 上場 / 非上場 | 業種 | 目標 | 手段、実施状況 | ウェブサイト・資料 |
|----|--------------------------------|----------|--------|--|--|--|
| 1 | Unilever Foods Pakistan | 上場 | 食品、消費財 | 2030年までにネット・ゼロ・ビジネスを実現 | エネルギー ・エネルギーの78%は再生可能エネルギー源から供給（24万2,000本の植樹に相当） ・工場での太陽光発電とバイオマス発電導入 ・アイスクリーム工場は、ユニリーバ南アジア最大の工場内太陽光発電所を持つ | https://www.unilever.pk/plenet-and-society/sustainability-at-unilever-pakistan/improve-health-of-the-planet/ |
| | | | | プラスチックのリサイクル 2025年までに生産量を上回る量のプラスチックを集める | リサイクル ・2022年にプラスチックフットプリントの50%を回収 ・パッケージの60%をリサイクル可能に ・5,000トンのプラスチックを回収 ・2022年時点で、3万6,000kgのプラスチックを公園の20個のベンチにリサイクル ・大学と提携し、プラスチックリサイクルを研究 | |
| | | | | 水 自然の保護と再生 | 2015年基準年から水使用量を28%削減 | |
| 2 | Nestle Pakistan | 上場 | 食品、乳製品 | 2030年までに温室効果ガス（GHG）排出量を半減し、2050年までにネット・ゼロを達成する | エネルギー 実施中の取り組み拡大により、2025年までにCO2排出量を20%削減 ・農家のコストを削減するため、高収量牛を輸入 ・再生可能農業の実施：無耕起、作物残渣の肥料としての再利用 ・モリンガ（葉、実、幹、根などが食用になる栄養価と経済価値の非常に高い植物）の植林 ・太陽光発電設置に農家を補助 2025年から2030年までに事業転換により排出量を50%削減する 2030年から2050年までの排出量を高度技術活用により、残りの排出量を相殺し均衡させる | https://www.nestle.com/sustainability/climate-change/zero-environmental-impact |
| | | | | 持続可能な包装-2025年までに包装の95%をリサイクルできるようにする | 持続可能なパッケージング ・2025年までにパッケージの95%をリサイクルできるように設計 ・2021年に4億本のプラスチック製ストローに代えて、紙製ストローを飲料製品に導入 | |
| | | | | 水 | 水 ・家庭での水使用量の削減 ・新しい水再生プロジェクトの導入 | |
| 3 | Procter & Gamble Pakistan | 非上場 | 日用品 | 2040年までにネット・ゼロ・アンビション -グローバル総合計画 | ・気候、廃棄物、水、自然を対象 ・2023年9月、カラチ近郊の製造施設に1.86MWの太陽光発電所を開設、年間1,670トン以上のCO2換算を削減 | https://pk.pg.com/environmental-sustainability/ https://pk.pg.com/news/pg-collaborates-reon-energy/ |
| | | | | 水の測定、維持、増加 | ・排水処理プラント設置 ・水使用量を5年間で繊維部門では39%、アパレル部門では41%減少 | https://www.crescentbhuman.com/chapter-3-a-love-for-nature/ |
| 4 | Crescent Bahuman Textile Mills | 非上場 | 繊維 | CO2排出量測定、削減 | ・5年間で繊維部門のエネルギー消費量を27%、アパレル部門のエネルギー消費量を11%削減 | |
| | | | | 植樹 | ・50万本の植樹 ・塩素フリー、KMnO4（過マンガン酸カリウム）フリーの安全な化学薬品を使用 | |

| | | | | | | |
|---|---------------------|----|----|---|--|---|
| 5 | Gul Ahmed Textile | 上場 | 繊維 | エネルギー -2050年までにネット・ゼロ・エミッションを達成する | <ul style="list-style-type: none"> ・2027年までに12MWの太陽光ベースの再生可能エネルギーを追加 ・2030年までにエネルギー効率を15%改善 ・総蒸気発生量の51%を廃熱回収で賄う | https://gulahmed.com/sustainability/green-company/ |
| | | | | 水 -2027年までに液体排出ゼロを達成する | <ul style="list-style-type: none"> ・水のリサイクル能力を60%改善 | |
| | | | | 原材料 -2030年までに持続可能な原材料を100%調達する | <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な原料投入が62%（1,500軒の農家が有機綿花栽培の研修受講） ・購入総量の52%が地元産 | |
| | | | | リサイクル | <ul style="list-style-type: none"> ・社内生産廃棄物リサイクル月間200トン ・地域社会に27万5,000本の植樹 ・3,177トンの廃棄物を処分から転換した | |
| 6 | Interloop | 上場 | 繊維 | GHG排出量 -2025年までに25%削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・第5工場に1.9MWの太陽光発電用駐車上屋を設置、施設全体での設置容量は7.9MW、年間約4,660トンのCO2排出量を削減 ・太陽光に加え、バイオマス（もみ殻）を燃料として使用し、エネルギー需要の一部を賄う、2022年の総削減量は4,965トン ・廃熱回収システム（WHRS） - コージェネレーションシステムの技術による廃熱回収（WHR）ボイラーの設置、2022年には1万3,623トンのCO2を削減 | https://interloop-pk.com/wp-content/uploads/2023/09/Sustainability-Report-2022.pdf |
| | | | | 水 -2025年までに使用量を25%削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・ナノ・バブル・テクノロジーを使用して、洗濯工程における水の利用を効率的に管理し、水の消費量を95%、化学薬品の消費量を71%、エネルギー消費量を50%削減し、液体排出をゼロに ・持続可能な繊維漂白プロジェクトで、既存の加工機を多重充填排水システムでアップグレードし、漂白水と薬品をさまざまな加工サイクルで再利用できるようにし、環境への影響を大幅に削減 ・インターloop・アパレルパークに20%のリサイクル能力を持つ水リサイクルプラントを増設し、メリヤス第5工場からのウェット加工廃水を100%処理するため、廃水処理・リサイクル専用プラントを設置 ・水管理への取り組みにより、13万4,720m3の水使用量を節約 | |
| | | | | 化学物質管理（ZDHC） -2025年までに有害化学物質排出サブライヤーをゼロに | <ul style="list-style-type: none"> ・ZDHCプログラムは、化学物質のベストプラクティスに従うこと、認証された原材料を導入すること、ZDHC/MRSL化学物質リストに準拠した効率的な化学物質管理システムを設計することにより、有害化学物質の使用を排除すること ・すべての製造施設で生物学的排水処理プラント（ETP）を24時間稼働させ、法とZDHCの基礎制限に従って、排水を汚染物質削減の許容範囲まで処理 ・最大の排水処理プラントは、毎時180m3の処理能力 | |
| | | | | 固形廃棄物管理 -2025年までに埋め立てからの100% | <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の収集と一時保管のための集中保管施設をすべての工場に設置。専門の作業員が廃棄物の分別、処理、収集、排出、販売を行い、コンプライアンスに準拠した処理手順を確保 | |
| 7 | International Steel | 上場 | 鉄鋼 | - | <ul style="list-style-type: none"> ・資源の効率的利用を促進し、廃棄物の削減に努力 ・最終的にはバリューチェーン全体の効率化を促進 ・事業の持続可能性をステークホルダーに対する重要な責任であるとする ・廃棄物の削減、環境保護、人々の健康、安全、福祉の確保、絶え間ない技術の進歩に全力を尽くす | https://isl.com.pk/sustainability/ |

| | | | | | | |
|----|--------------------|----|------|--------------------------------------|---|---|
| 8 | Lucky Cement | 上場 | セメント | 廃熱利用で電気をコジェネレートし、コスト削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・5基の廃熱回収 (WHR) プラントを設置し、廃熱利用で、燃料を消費せず、ダスト排出と排ガス低温化し環境に好影響を与える ・廃熱回収 (WHR)、タイヤ由来燃料 (TDF)、廃棄物由来燃料 (Refuse Derived Fuel、RDF) などのプロジェクトに投資し、生産コストを削減するだけでなく、二酸化炭素排出量も大幅に削減 | https://www.lucky-cement.com/sustainability/environmentally-friendly-practices/ |
| | | | | 排出量 | <ul style="list-style-type: none"> ・製造工程で発生する様々な汚染物質を制御するために、高効率のバグハウス (粉塵収集設備) を設置 ・ガスメットCEMシステムで排出ガスのPM、NOx、SOx、CO2を継続モニタリング ・二重燃料転換プロジェクトの実施で、炉油から環境に優しい代替燃料へエネルギー転換 ・これにより年間2万9,000トンのCO2排出量を削減 | |
| | | | | 代替燃料プロジェクト | <ul style="list-style-type: none"> ・固形廃棄物 (MSW) ともみ殻を利用したRDFにより、化石燃料ベースのエネルギーから代替エネルギーへの転換を図る | |
| 9 | Matco Foods | 上場 | 食品 | エネルギー | <ul style="list-style-type: none"> ・カラチの米加工工場に太陽光パネルを設置 - 規模は413kWpで、378トンのCO2排出削減 (1万5,376本の植林に相当) ・パンジャブ州の工場に太陽光パネルを設置し、規模は722kWp、年間615トンのCO2排出量を削減 | https://www.matcofoods.com/sustainability |
| 10 | KE (カラチ電力) | 上場 | 電力 | エネルギー -2030年に発電量の30%を再生可能エネルギーで賄う | <ul style="list-style-type: none"> ・GHG排出量4,517トン (2021年度の5,902トンから削減) ・331 GWhの再生可能エネルギー ・年間燃料消費量19万リットル削減 ・NEPRA (国家電力規制庁) ソーラー・マイクロファイナンス基金に 750 万ルピーを寄付 | https://www.ke.com.pk/sustainability/esg-sustainability-management/environmental-impact/ |
| 11 | Habib Sugar Mills | 上場 | 製糖 | 基準年 2021年から3年間の目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・GHG排出の削減は、再生可能エネルギー (バガス (さとうきびの搾りかす) やメタンを利用した発電) で実施 ・すべての排出物 (大気、水、土地への放出) による汚染を削減 ・環境に有害な物質の使用を削減 ・リサイクル率を可能な限り改善 ・再利用可能な梱包材を使用し、廃棄物を削減 ・エネルギー効率の高い発電システムの導入 ・節水、節電 ・再利用可能で耐久性のある材料の使用 (潤滑油、プラスチック、ガラス、タイヤ、布切れ、バッテリー、電子機器は、リサイクルの目的で製造業者に返却) ・輸送の最小化 (地元調達、地元製品の集中購入) ・複数機能を有する設備や機器 (コピー機、プリンター、ハードウェア、多目的清掃用製品など) を利用し、仕様製品数を削減。 | http://www.habibsugar.com/pdfs/misc/HSM%20Environment%20Policy.pdf |
| 12 | Habib Bank Limited | 上場 | 銀行 | 2030年までにネット排出ゼロを達成 | <ul style="list-style-type: none"> ・2020年に「新規石炭ゼロ」方針を承認 ・2030年までにネット排出ゼロを目指す ・2023年から慈善活動資金を税引き後利益の1.5%に増やす | https://www.hbl.com/sustainability |

出所：各社ウェブサイトからジェトロ作成